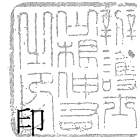


監査報告書

2017（平成29）年5月22日

社会福祉法人東京コロニー
理事長 中村 敏彦 殿

監事 山根伸石



監事 加藤一志



私たち監事は、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの平成28年度会計及び業務の監査を行い、次の通り報告する。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性及び財産目録について検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及び評議員会に出席し、理事または担当者から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査結果

2016（平成28）年度の社会福祉法人東京コロニーの監査について

- (1) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (2) 計算書類は、法令及び定款に従い、収支及び事業活動の状況並びに財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不整の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

3. 監事意見

東京コロニーの雇用する者及び、各事業所を利用する障害者が間もなく高齢者となる。そこに生ずることは、業務を継続する後継者の問題であり、また、東京コロニーの施設を離れて、行き場を失う障害者である。

これを各事業所のこととして考えるのではなく、法人全体の問題としてとらえ、今後の人材の雇用あるいは配置換えなどによる人材の登用を考慮すべきであり、また高齢となった障害者を受け入れる事業の構想などを、多角的に検討すべきである。

以上